

中学歴史プリント（過去問類似）

安土桃山時代

名前

得点

/8

問1 16世紀のドイツにおいて、修道士のルターがローマ教皇の権威を否定し、聖書を中心とする信仰を説く「宗教改革」を始める直接のきっかけとなった出来事を選択してください。（2026年 滋賀公立入試 類似）

1. ローマ教皇がサン・ピエトロ大聖堂の改築費用を集めるために免罪符（贖宥状）を販売したこと
2. 十字軍の遠征が失敗に終わり、教皇の権威が失墜したことで人々の不満が高まったこと
3. イタリアを中心に古代ギリシャやローマの古典文化を復興させようとする動きが広まったこと
4. オスマン帝国がビザンツ帝国を滅ぼし、イスラム教の勢力が東ヨーロッパまで拡大したこと

問2 1588年に豊臣秀吉が発令した、農民などの諸国の人々から刀や脇指、弓、槍、鉄砲などの武器を没収した政策について、その目的を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2024年 栃木公立入試 類似）

1. 一揆を防止するとともに、武士と農民の身分をはっきり分ける兵農分離を進めるため
2. 借金に苦しむ農民を救済するために徳政令を出し、社会の安定を図るため
3. キリスト教の布教を制限し、幕府による直接的な貿易の統制を強化するため
4. 天皇や公家の行動を制限し、朝廷に対する武家政権の優位を確立するため

問3 織田信長が安土城下などで楽市・楽座を実施した目的として、城下町の繁栄以外に当てはまる背景はどれですか。（2025年 千葉公立入試 類似）

1. 寺社や公家などの旧来の勢力が、商工業者を通じて持っていた支配力を弱めること
2. 特定の豪商に製造と販売を独占させ、そこから得られる運上金を幕府の主要な財源にすること
3. キリスト教の布教を制限するために、商人の活動範囲を城下町の一定区画内に限定すること
4. 農民が商業に没頭して農業が疎かになるのを防ぐために、商人と農民の身分を厳格に分離すること

問4 16世紀のヨーロッパでは宗教改革が起こり、キリスト教のあり方が大きく変化しました。この時期に設立されたイエズス会の宣教師たちが、日本を含むアジア各地で積極的に布教活動を行った理由として、最も適切なものを選択してください。（2019年 広島公立入試 類似）

1. ヨーロッパで勢力を拡大していたプロテスタントに対抗し、海外でカトリックの信者を増やして勢力を立て直すため
2. 江戸幕府による朱印船貿易の制限に対抗し、キリシタン大名と協力して新しい貿易ルートを独占するため
3. 鎖国体制下の日本において、キリスト教の教えと日本の伝統的な仏教を融合させた新しい宗教を創るため
4. ポルトガルやスペインの軍力を背景に、武士の特権を廃止してヨーロッパ型の封建社会を日本に導入するため

問5 安土桃山時代の文化が、それ以前の室町時代の文化（東山文化など）と比較して、非常に豪華で壮大なものへと変化した背景として最も適切な理由はどれですか。（2022年 愛媛公立入試 類似）

1. 全国統一を目指す大名たちが自らの権威を誇示し、新興の豪商たちが活発な経済活動を行ったため。
2. 禅宗の教えが社会全体に広まり、簡素で控えめな美意識が理想とされたため。
3. 遣唐使によってもたらされた大陸の進んだ文化が、貴族の間で洗練されたため。
4. 鎖国体制が完成し、日本独自の国風文化が庶民の間で成熟したため。

問6 16世紀のドイツにおいて、ドイツのルターやスイスのカルバンらが、ローマ教皇の権威や免罪符（贖宥状）の販売を批判して始めたキリスト教の改革運動と、その結果として新しく生まれた宗派の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2016年 岐阜公立入試 類似）

1. 宗教改革 — プロテスタント
2. ルネサンス — ヒューマニズム
3. 十字軍 — イスラム教
4. 宗教改革 — カトリック

問7 豊臣秀吉が全国の領主に対して、領地の生産力を米の量で報告させたことは、その後の社会構造に大きな影響を与えました。この政策と「軍役（ぐんやく）」の関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2020年 香川公立入試 類似）

1. 大名は、秀吉から認められた領地の石高に応じて、戦時に動員する兵士の数や軍備を負担する義務を負った
2. 石高の基準が導入されたことで、農民は年貢を納める代わりに、軍役としての兵役をすべて免除された
3. 軍役はすべての階層に等しく課されたため、武士と農民の身分の区別は以前よりもあいまいになった
4. 石高に関わらず、すべての領主は一定の兵数を差し出すことが求められたため、経済的な格差が縮小した

問8 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。
2. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。
3. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。
4. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ローマ教皇がサン・ピエトロ大聖堂の改築費用を集めるために免罪符（贖宥状）を販売したこと	当時のローマ教皇は、聖堂の改築資金を調達するために「購入すれば罪が許される」と称して免罪符を売り出しました。これに対し、ドイツのルターが「九十五か条の論題」を発表して教会の姿勢を批判したことが、宗教改革の始まりとなりました。ルターは、人は免罪符の購入などの行為ではなく、信仰によってのみ救われると主張し、信仰のよりどころを聖書に求めました。
問2	答え 1 一揆を防止するとともに、武士と農民の身分をはっきり分ける兵農分離を進めるため	豊臣秀吉が行った「刀狩」は、農民から武器を奪うことで一揆の発生を防ぐことを直接の目的としていました。これにより、耕作に専念する農民と、軍事に専念する武士という身分の区別を明確にする「兵農分離」が大きく進むこととなりました。他の選択肢にある徳政令は室町時代などに多く見られ、公家諸法度などは江戸幕府による政策です。
問3	答え 1 寺社や公家などの旧来の勢力が、商工業者を通じて持っていた支配力を弱めること	当時の「座」は寺社や公家を本所（保護者）として仰いでおり、そこから上がる収益が旧勢力の資金源となっていました。信長は座を廃止し、市場を自分の直轄支配下に置くことで、これら旧勢力の経済的基盤を切り崩し、自らの統治権を確立しようとしていました。
問4	答え 1 ヨーロッパで勢力を拡大していたプロテスタントに対抗し、海外でカトリックの信者を増やして勢力を立て直すため	16世紀、ヨーロッパではルターやカルバンによる宗教改革が起こり、プロテスタントの勢力が急速に拡大しました。これに対し、カトリック教会側は自己改革を行うとともに、アジアや中南米といった海外への布教を通じて信者を増やし、教会の勢力を回復しようと考えました。この目的のために設立されたのがイエズス会であり、フランシスコ・ザビエルなどの宣教師が日本を訪れる背景となりました。
問5	答え 1 全国統一を目指す大名たちが自らの権威を誇示し、新興の豪商たちが活発な経済活動を行ったため。	文化の担い手が、それまでの公家や僧侶から、新たに台頭した戦国大名や豊かな豪商（堺や博多の商人など）へと移り変わったことが大きな要因です。天下人となった織田信長や豊臣秀吉は、巨大な城郭を築くことで自らの政治的権力を誇示しようとし、それに伴って芸術作品も大規模で華美なものへと変化しました。簡素さを重んじる禅宗の影響が強いのは室町時代の文化です。
問6	答え 1 宗教改革 — プロテスタント	ルターは免罪符の販売に対して「九十五か条の論題」を発表して批判し、信仰のよりどころをローマ教皇の権威ではなく聖書に求めました。この運動は宗教改革と呼ばれ、従来のローマ・カトリック教会から分離した新しい宗派は「抗議する者」を意味するプロテスタントと呼ばれます。
問7	答え 1 大名は、秀吉から認められた領地の石高に応じて、戦時に動員する兵士の数や軍備を負担する義務を負った	太閤検地によって確定した「石高」は、単なる納税の基準だけではありませんでした。秀吉（中央政府）は、各大名の領地の総石高に基づき、それに見合った兵員数や武器の供出を命じました。これにより、土地の生産力と軍事力が直結し、組織的な統治が可能となりました。これは、農民が年貢の負担に専念し、武士が軍役を担う「兵農分離」を促進する要因となりました。
問8	答え 1 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。	太閤検地では、測量した面積に土地の良し悪しに応じた「等級」を掛け合わせ、予想される米の収穫量を「石高」として決めました。また、検地帳には実際に耕作している農民の名前が一人だけ登録される「一地一作人の原則」がとられました。これにより、複雑だった荘園制の権利関係が整理され、農民が年貢を納める責任者であることが明確になりました。